



2024 年 1 月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.130)

まずは、本年1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになりました方々に哀悼の意を表します。また被災し不自由な生活を送られている方々においては一日も早く安心していただけるよう願っております。

同日羽田空港にて旅客機と海上保安庁航空機が衝突するという大きな事故があり、そこでお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。

新年早々このような大きな出来事で騒然とする中2024年がスタートしましたが、今年も TTA の事業は継続していきます。私たちは様々な事柄を教訓に前を向いていなければならないと思っています。

先の災害やアクシデントで最も悲しいのは命が失われることです。私たちの事業の中で最悪の状況を想定するならば、コート内での事故ではないでしょうか。

テニスはネットを挟んでの競技ですから身体的接触はありませんが、個々の怪我や体調変化は免れません。

私たちは、先のとちぎ国体を機に応急手当講習会として、宇都宮消防署の協力を仰ぎ、主にAEDの使い方を習得する取り組みを始めました。併せて簡単な止血のやり方も教わりました。

いざ事故が起きた時、手を拱いて何もしないのではなく最低限の事が出来たら最悪の結果は回避されるのではないのでしょうか。

沢山の尊い命が奪われていく中で、自分たちが直面するかも知れない状況を想像し応急手当を学ぶことの意義を再認識しました。AEDの使い方は、講習会で現物を前にすると「どうするんだっけ？」となります。何度やってもスムーズな動作ができません。学習能力が低いので、今年も機会がありましたら是非学びたいと思っています。

